

すでに師走を迎え、年の瀬も間近になって参りましたが会員の皆様にはお元気にてお過ごしのことと拝察いたしております。日頃は会議所諸事業につきましては、いつもご協力を賜り、ありがたく御礼を申し上げます。

私も色部前会頭の後任に選任されて以来、5年有余、不慣れでした私を皆様がよく支え援けて下さり、今回の臨時総会において三度お選び下さり、深く感謝申し上げます。今後はご期待にお報いできる様、残された余生を傾注して努力いたして参りますので、今後ともご支援のほどお願い申し上げます。

かつて私は海では貝類問屋として十余年、埋め立て転業後は学校給食を中心とした業務用直販問屋として凡そ四十余年働いて参りました。

その悪戦苦闘の戦いの中で教えられたことは「家庭も会社もそして業界もすべて人によって育ち、栄え、人によって衰え、亡んで行く」ことでありました。

私が会頭に就任いたしました頃は、バブルの後遺症の最も厳しい時でありました。

私は今迄の経験から会議所もまちづくりもすべて人が作るものだから・・・難しく考えず、多くの人と出会い、知り合いを広め、異なる意見もよく聞き、自分の考え、方法を率直に伝えることに努めて参りました。

地域のあり方としては、「循環経済」を唱え、まず仲間たちとの商いを優先することによって昔の様な仲間意識を取り戻し、友情と信頼を再構築することがこれからの時代に必要だと思いました。

会議所は部会、委員会、商店会、女性会、青年部等各自の活発な活動を特にお願ひして、その汗と感動の中から人が育ち、リーダーが生まれ、多くの終生の友、仲間が生まれることを願って参りました。

しかし会員1800余社のそれぞれの夢、希望すべてにこたえることは物理的に無理があります。

代わってできることは氾濫する情報、噂、ニーズを分析、調査、データを送ることであります。

仲間たちと国内外を歩き、FAX 通信で皆様へお届けすることに務め、120 回を越えました。

少子高齢化時代を迎え、市場が収縮いたしております折、隣市に大型ショッピングセンターが来年オープンいたします。全国8千か所の商店会の「大型店進出による影響調査アンケート」の70%が潰滅、6%が栄えたとあります。

この君津市の中小零細企業に働く人は凡そ3万人、私に与えられた役目は働く人3万人とその家族の生活を守るためにも、アンケートのたった6%の繁栄の仲間入りの可能性を見出すことであります。幸い、私達は郷土愛を持ったよき市長を選ぶことができました。市長が名将なれば行政の職員も弱卒なしのよき活躍をしてくれています。これからのまちづくり、私達が生きる道は、行政、市民、経済が協働して人と人とのつながりを再構築していくことが最も大切だと思っております。古代からの人類が万物の霊長として繁栄してきたのは、群を作って経験を知恵として生かし、ともに分かち合い、助け合ってきた歴史が証明しております。

これからの与えられた三年間、一緒に次の世代へと誇れる努力をいたして参りたいと存じます。

よろしくお願ひ申し上げます。

